

年次別経営改善計画検討表

(畜 試 経 営 部)

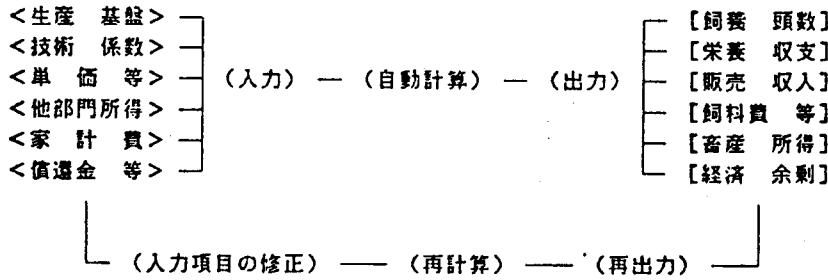
1. 背景とねらい

経営改善計画の樹立に当たっては、目標年次のみならず、その途中経過についても十分に検討を加え、計画の妥当性を確認しておく必要がある。また計画の進行過程に於いて、営農実績に基づいて計画を修正し、将来の姿を予測するなど柔軟な進行管理が要求される。

そこで「畜産経営特別管理指導事業」における、「農家経済収支計画」のチェックを行なうことを主目的としながら、一般的な畜産経営の年次計画の検討にも応用できる、検討表を作成した。

2. 技術の内容

1) 仕組みの概略



2) 検討表の様式と検討手順

農家経済収支計画 (酪農 主業)

コード	項 目	現況年	第1年目年	第2年目年
8	経産牛期首頭数 (頭)		0	0
9	経産牛購入頭数 (頭)			
10	経産牛繰入頭数 (頭)			
11	経産牛廃用頭数 (頭)			
12	経産牛常時頭数 (頭)	0	0	0
14	平均分娩間隔 (月)			
15	分娩事故率 (%)			
16	子牛生産頭数 (頭)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
17	初生雄子牛販売頭数 (頭)			
19	育成・肥育雄牛期首頭数 (頭)		#DIV/0!	#DIV/0!
20	育成・肥育雄牛購入頭数 (頭)			
21	育成・肥育雄牛販売頭数 (頭)			
22	育成・肥育雄牛へい死率 (%)			
23	育成・肥育雄牛へい死頭数 (頭)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
25	初妊・育成雌牛期首頭数 (頭)		#DIV/0!	#DIV/0!

(1) 上記様式の空欄にデータを入力し、記号で埋まっている欄を自動計算させ全項目を出力させる。

(2) 出力データを検討し、不十分な場合は関連する入力データを修正して再計算させる。

3) 作成した営農類型と入・出力項目数 (単年度)

	入力項目	自動計算項目	出力項目
(1) 酪 農 主業型	58	43	101
(2) 去勢肥育 主業型	70	66	136
(3) 黒毛繁殖 複合型	75	50	125
(4) 短角繁殖 複合型	75	50	125
(5) 養豚一貫 主業型	57	70	127

4) 特に配慮した点

- (1) 家畜頭数の年次変化の自動的把握
- (2) T D Nによる粗飼料生産と飼料給与とのバランスの自動的把握
- (3) 農家の実態に即した検討
- (4) 経営条件や技術水準の変化に即した検討

3. 指導上の留意事項

- (1) 所得等は、すべて現金収支でけいさんしている。
- (2) 原則として、全部の欄のマイナスの符号が消えるまで修正を行なう。
- (3) 対象農家の経営基盤や、技術水準に合わせた係数を入力すること。
- (4) 一部の項目については、補助的な計算を必要とする。
- (5) 必要に応じて、様式や計算式を変更すること。
- (6) 検討年次は、一応6年としてあるが必要に応じて増減すること。

4. 参考文献・資料

- 岩手県・岩手県農協中央会「畜産経営特別管理指導事業規定集」
中央畜産会「日本飼養標準：乳用牛・肉用牛」
日本短角種登録協会「日本短角種」
岩手県農政部「新技術体系」